

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	公民館	事業No.	301
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H15	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			社会教育法 飯田市勤労青少年ホーム条例、飯田勤労者体育センター条例 消防法等の施設保全上の関係法令	
事業目的	対象	勤労青少年ホーム利用対象者			
	意図	勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	教養講座の中にスポーツ分野の企画を入れるなど指定管理者の工夫によって新たな企画に取り組みました。リモート設備を設置し利便性の向上を図りました。平日夜間や休日の受付業務、ネット予約受付など利用者サービスの拡充に引き続き取り組みました。		指定管理料 10,950 耐震診断業務委託料 8,965 その他の経費 241								
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	勤労青少年ホーム利用者数	人	6,000	6,230	6,000	8,109	6,000	9,693	8,300	10,210	
	第一・第二体育館利用者数	人	45,000	45,744	45,000	48,556	45,000	42,759	50,000	22,619	
2年度 決算 (千円)	予算額	21,544	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	20,156	(そ) 諸収入								
	財源の 状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	210								
	一般財源	19,946									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	14	2	21,544	20,156	勤労青少年ホーム管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	コロナ禍により、体育館の利用者数は減少しましたが、勤労青少年ホームの利用者は増加しました。
上記の課題解決のための有効策	コロナ禍においては、引き続き感染防止対策の徹底と、指定管理者の強みを活かした講座の実施と広報活動を継続的に行う必要があります。
次年度に向けての取り組み	スポーツ振興を目的とした事業講座を実施します。サービスの向上、自主事業、広報活動に引き続き取り組みます。4半期ごとの事業報告をもとに指定管理者と担当課で協議を行い、適切な施設の運営に取り組みます。